

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

おじいちゃん、おばあちゃんとたくさん遊ぼう♪



おおぎみこども園 世代間交流



9月12日（金）、おおぎみこども園において園児のおじいちゃん、おばあちゃんを招き、世代間交流が行われました。

保育部では魚釣りゲームをしたり、ボールプールで遊んだり、運動遊びや絵本の読み聞かせなどおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしました。また、みんなで沖縄のわらべうたを歌い、手あそびをしました。園児たちのかわいい姿におじいちゃん、おばあちゃんたちもほっこり癒されました。

幼児部では「おじいちゃん、おばあちゃんとあそぼう」が行われました。元気いっぱいのおおぎみこども園の歌で幕開け。ひまわり組からでいご組までの園児たちが縦割りのチームを作り、自分の得意なことや好きなこと、やりたいことを考え、踊りやエイサー、歌など披露し、芸達者なおじいちゃん、おばあちゃんを喜ばせました。

「じいじ、ばあばのすごわざ」ではお手あそびやアルトサックス演奏、三線・太鼓にハーモニカ、オカリナ演奏、腹話術と多種多様にわたり、園児たち聞きほれたり、一緒に歌ったり、笑ったりおじいちゃん、おばあちゃんのスゴ技に魅了させました。

大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと見守られながら一緒に活動し、心ゆくまで交流を楽しむことができました。



うちの子、園ではどんな顔をしている?? こども園保育参観

9月17日（水）、おおぎみこども園において保育参観が行われました。

保育部では外遊びや室内での運動、工作などが行われ、家族が来てウキウキの子もいれば、お母さんにずっとくっついていてる子、他のお母さんとも一緒に遊ぶ子の姿が見られました。

幼児部は遊戯室でかけっこ練習。以前と比べ足腰もしっかりしており一生懸命走る姿にみんなの顔もほころびました。園庭でもそれぞれの子が縄跳びや竹馬、虫取り、砂遊びなど好きな遊びに挑戦し、できるようになったことを家族に見せてくれました。

その後、幼児部の園児、保護者向けに仲村奈利子先生が「早寝早起き・朝ごはん」の大切さをお話ししてくれました。お話しの間に〇×クイズも出され、園児たちは楽しみながら「早寝早起き・朝ごはん」を学びました。奈利子先生は「良く寝て、朝ごはんをしっかり食べると元気に活動できる。ぜひ家庭で早寝早起き朝ごはんの習慣をつけてほしい」と伝えました。



体力年齢はいくつ? 測って知ろう! 自分の体 体力・運動能力調査

9月24日（水）～26日（金）、旧大宜味小体育館において令和7年度体力・運動能力調査が行われました。

この調査は国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることを目的に行われ、大宜味村では5年に1回行われています。

20歳～64歳は①握力、②上体起こし、③長座体前屈、④反復横跳び、⑤20mシャトルラン、⑥立ち幅跳び、65歳～79歳は①～③に加え、④開

眼片足立ち、⑤10m障害物歩行、⑥6分間歩行のそれぞれ6項目に挑戦しました。

参加者たちは思った以上の結果に喜んだり、ショックを受けたりしながらも楽しく体力テストを受けました。いい結果も悪い結果も日頃の生活や運動習慣を見直すいい機会となりました。



先輩に学ぶ 中3 JICA 海外協力隊 崎山美波里さんとオンライン交流

9月2日（火）、大宜味中学校3年教室において、英語の時間を活用し、大宜味中学校第34期生の崎山美波里（みなり）さんが、3年生に向けてオンライン出前授業を行いました。

美波里さんはJICA海外協力隊2024年2次隊としてザンビアで感染症・エイズ対策を現地の人たちに伝える活動を行っています。

日本とザンビアの時差は7時間。4時間目の授業開始時、ザンビアは午前4:45です。早朝にも関わらず、エネルギッシュな美波里さんからザンビアの国のこと、JICA海外協力隊の仕事のこと、美波里さんがザンビアで行っている活動についてクイズを交えながら紹介しました。また、ザンビアの人はあいさつを大事にしており、親しみを込めてそれぞれの国の言葉であいさつをすることを教えてくれました。

生徒たちからは海外協力隊は給料があるのか、なぜザンビアを選んだのか、言葉以外で困ったことはあったかなどの質問があり、美波里さんは丁寧に答えてくれました。ザンビアでの暮らしについて毎日大変でうまくいかないことばかりと話す美波里さんですが、その中でも「現地の言葉を1語覚える」、「買い物するときに値引き交渉をしてみる」など小さい挑戦を行っているとし、「1つ1つの挑戦は小さいことだけれど、溜まっていくと大きな力になる。できた自分を褒めていくことも大事」と伝え、後輩たちを激励しました。

海外で実際に活躍している先輩の話聞き、好きなことや興味を持ったことについて、まずは行動に移すことの大切さを知るいい機会になりました。



本で心を豊かに… 社協より大宜味中に本の贈呈

9月2日（火）、大宜味村社会福祉協議会の前木秀治会長が大宜味中学校を訪れ、図書室に15冊の本を贈呈しました。

この贈呈は福祉教育の一環として行われたもので、赤い羽根共同募金の一部を利用して本を購入しています。

前木さんは「前回の赤い羽根共同募金みなさんが集めてくれた赤い羽根共同募金はお年寄りや障害を持っている方、生活に困っている方などに福祉活動資金として使われる。みなさんが集めてくれた募金が様々な人の役に立っており、今回のように自分たちに返ってくることもある。本を読むことは想像力が豊かになり、社会で生活する上で大いに役立つ。大宜味中のみなさんにもぜひたくさん読んでほしい」と話しました。

生徒会長の大湾心晴さんは「本の寄贈をありがとうございます。大切に読ませていただきます」と喜びました。

本の寄贈は小学校にも行われています。小中学生のみなさん、図書室を利用する時にはぜひ新しい本をチェックしてみてください。



子どもたちの活躍を間近で見よう！ 小中合同授業参観

9月19日（金）、大宜味小・中学校において大宜味村小中合同授業参観が行われました。

小学校では図工や理科、国語などの授業や夏休みの作品展の見学などが行われ、普段の学校での様子や工作や絵、習字、自由研究など児童たちが夏休み中に頑張った力作を見ることができました。

中学校では理科や社会、運動会練習の体育など自分たちの考えを発表したり、みんなで息を合わせて練習したり、それぞれが活躍する姿を見せてくれました

また、小学4年生～6年生、中学生、保護者を対象に比嘉正央さんを招き、大宜味村学校保健委員会講演会「人権について」が行われました。自身の体験をもとにストリートチルドレンの子のこ、HIVに感染した子どものこと、沖縄県でかつてあったハンセン病差別のことなどを話してくれ、参加者たちは「人としてどう生きるか、どのように他者と関わっていくか」を学びました。

講演会をふり返り、中学生からは「人を許し、励ましたい」、「人のために行動できるようになりたい」、「周りの人たちを大切にしたい」という感想があがりました。

大人も子どもも自分や周りの人に対する行動について考える講演会となりました。



光きらめく塩屋湾を歩こう♪ キャンドルナイトウォーキング

9月27日（土）、塩屋湾周辺においてキャンドルナイトウォーキングが開催されました。

今年は田港折り返しコース（3.8キロ）、大保橋折り返しコース（6.4キロ）、塩屋湾一周コース（7.3キロ）の3コースを準備。村内外から42名の参加者が訪れ、名桜大学の学生ヘルスサポートサークル約33名とともに夕暮れの塩屋の青年浜を出発し、淡い光に照らされた塩屋湾の幻想的な風景を楽しみながら歩きました。



令和7年度わんぱく体験団 第4弾「手打ちうどんを作ろう！」

9月23日（火）、大宜味村農村環境改善センターにおいて令和7年度わんぱく体験団④「手打ちうどんを作ろう！」が行われました。

これまでのわんぱくで沖縄そばは作ったことがありますが、うどんは初挑戦。うどんは簡単に調理出来ておいしいのでみんなもよく食べている食材。そんなうどんを一から作ってみよう！うどんが何からできているのか知ろう！

ということで、手打ちうどん作りスタートです。できあがったら家族も呼んでみんなで食べよう♪



うどん（麺）の材料はたった3つ。中力粉と塩と水です。工程も簡単。①材料を計る→②生地をこねる→③寝かす→④こねる→⑤寝かす→⑥伸ばす→⑦切る→⑧茹でるです。とりあえず材料を計って生地をこねていこう！粉に水を加えて混ぜていくのですが、最初はボロボロでこんな状態で本当にうどん生地になるの??と不安になります。それでもこねよう！水を足したくなるけどガマン、ガマン。不思議とね、ずっとこねていくと生地が1つにまとまるんです。生地がある程度まとまったら、今度はビニール袋の中に入れて足で踏みます。かかとを使って踏むのがポイント。踏んで生地を伸ばしたら、折ってまとめて、また踏んで伸ばします。これを繰り返すとつるつるの生地ができるんです。生地がきれいになったら丸めて袋に入れて30分寝かせます。寝かせている間にさっきまで使っていた道具を洗います。



寝かせた生地を再びこねて、また20分寝かせます。うどん作りは待ち時間が結構あるのです。20分経ったらいよいよ佳境に。次は生地を伸ばしていきます。麺棒を使って真ん中から外へ、うす～く、うす～く生地を伸ばします。目指せ1mm（本当は3mmだけど…）。生地が伸びたら、打ち粉をしながら蛇腹に折って切ります。なるべく細く切ろう！太いと茹で時間が長くなるから…。生地作りまでほぼ予定通りに進んでいましたが、「伸ばす」→「切る」が意外に難しく、大幅に時間がかかります。お客さん（家族）もぞろぞろ集まってきました。みなさん、しばらくわんぱくたちの姿を見て待っていてください。きっと、おいしいうどんができるから…。



麺ができたら、いよいよ茹であげます。みんなが頑張って細～く切ったおかげで茹で時間も大幅削減。たまにきしめんみたいな麺もあるけれど、お店で売っていてもおかしくないくらい素晴らしいうどんが茹であがりました。わんぱくうどん開店です!!みんなもお客さんもお腹ペコペコ。さあて、お味は?? ツルツルしこしの麺に仕上がリ、みんな大満足です。おかわりしてくれる人もたくさんいました。

スーパーで売っているうどんは時短料理の味方ですが、一から作るとこんなに大変。でもその分美味しい♪ご飯を作ることの楽しさ、作ってくれる人のありがたさを知る活動となりました。

給食センターより報告 「カラキパウダー」の提供がありました！

9月上旬、KuganiKitchen 合同会社の宮城美和子さんより、学校給食センターへ昨年度に引き続き「カラキパウダー」の提供がありました。

大宜味小中学校の児童生徒のために寄贈いただき誠にありがとうございます。

寄贈いただいたカラキパウダーは、9月5日（金）の学校給食献立「カラキナッツトースト」に使用して、美味しく仕上げることができ児童生徒達に好評でした。



～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第8回 教育委員会会議 令和7年8月28日（木）午後2時

《審議事項》

議案第13号 令和7年度大宜味村一般会計補正予算（教育費予算（第3号））について 《可決》

図書室情報

No.74 2025年（令和7年）10月

大宜味村図書室（旧議会棟）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

新着図書

『定本 脳と森から学ぶ日本の未来』 稲本正・著 / WAVE 出版
『ポンコツ一家』『ポンコツ一家 2 年目』 にしおかすみこ・著 / 講談社
『さんぺいの沖縄そばの歩きかた』 さんぺい / 著・ボーダーインク
『どんぐり・木の実の森』 岩藤しおり / 著・いかだ社
『ピーマンマンとてんさいむしばキン』 中村景児 / 著・岩崎書店 などなど

本のリクエスト受付中

※年度内お一人5冊まで本のリクエストができます！沖縄県立図書館の本を取り寄せることもできますので、お気軽にお声掛けください♪

譲渡本あります

対象：大宜味村民・各種団体
村内に在勤・在学の方

※譲渡資料の転売・換金など
営利目的での持ち帰りは
ご遠慮ください。

10月図書室カレンダー 閉室日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月の統計（9/24まで）

○来室者数…のべ62人

○貸出冊数…93冊

現在蔵書数…9,205冊

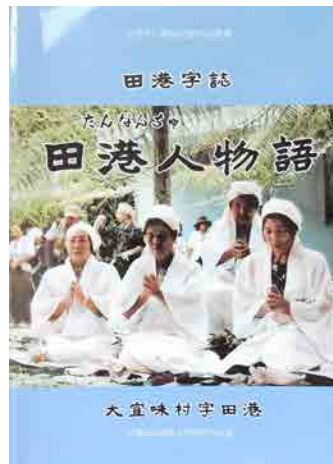
利用状況累計（2019年9月～）

○来室者数…のべ4,390人

○貸出冊数…7,141冊

○登録者数…198人

田港字誌「田港人物語」発刊！！



令和7年9月、田港字誌『田港人（タンナンチュ）物語』の寄贈をいただきました。

古層のムラ田港にまつわる様々な事象に加え、田港ノロ司祭で執り行われる「ウンガミ」についても、シマンチュの目線で詳しく紹介され、すばらしい字誌に仕上がっています。図書室で閲覧できます。

平成30（2018）年の発行委員会発足から紆余曲折、関係者のご苦勞に敬意を表します。

しまぬくとうば、くるを大切に… タッチー先生しまくとうば講座

9月18日（木）、大宜味中学校多目的室において元大宜味小学校校長の宮城達也さんを講師に「しまくとうば講座」が行われました。

今回の対象は中学2年生、3年生。始めに「ていんさぐぬ花」を前田琴美先生の三線で歌い、琉歌は俳句とは違い、8音8音8音6音の30音でできている。この歌を漢字にする歌の意味はわかるけど、ひらがなで表すと何を言っているかわからない。けれど、今日の授業を受けた後は変換できるようになると話しました。

しまくとうばの「しま」は村落や島を表すだけでなく「故郷」の意味も持つので、しまくとうばは「故郷のことば」と言えます。また、2009年にユネスコが日本の言語8つを消滅の危機に瀕する言語と指定しており、そのうちの5つ（国頭語・沖縄語・宮古語・八重山語・与那国語）が沖縄県内で使われています。昔はしまくとうばで話すこと

が悪いとされていたことや本州の文

化が入るとともに言葉も入り、様々な場所の人とコミュニケーションを取るために共通語が使用されるようになってきたことから、しまくとうばを使う人が少なくなり消滅の危機にたっています。

達也先生は3つの母音、長い母音のエー、オー、一音の単語は長く発音するしまくとうばの原則を教えてくれ、生徒たちは教わったことをヒントに共通語の単語をしまくとうばに変換するプリントに挑戦しました。

また、助詞・形容詞・名詞の変換のしかたを習い、実際にしまくとうばで会話をすることに挑戦。共通語からしまくとうばへの変換の形が決まっていたり、例外もあったり、思いがけないような変換方法もあったり、しまくとうば元々の面白さと達也先生の愉快的な授業に生徒たちも引き込まれ、以前よりしまくとうばに興味を持ち、身近に感じられた時間となりました。



一人一人の心がけで交通安全を守る 交通安全作文コンクール表彰式

9月26日（金）、大宜味小学校校長室において令和7年度交通安全作文コンクール表彰式が行われました。入賞者は以下の通りです。みなさん、おめでとうございます！

名護警察署長賞

1年 宮城美杜（みと）

名護地区交通安全協会賞

2年 宮城陽己（はると）

6年 平良颯（はやて）

村交通安全推進協議会入賞

3年 山口創一（そういち）

4年 濱元千莉（せんり）

5年 眞境名由圭（ゆうけい）

6年 田村将大（しょうた）





政信教育長のあじま～コラム

「先祖代々伝わる漢字」

今年5月26日施行の戸籍法等の改正により、戸籍に氏名のフリガナが追加されました。確認のための通知が皆さんの元にも届いたかと思います。

現役時代、年度当初に各クラスから児童生徒名簿が提出されると、子ども達の名前と顔が一致するか自分自身で毎年確認していました。特に新一年生については念入りに確認していました。最近、子ども達の名前も随分個性的になったものだと感じます。漢字だけだと読めない名前もあります。今回の法改正はいろいろな意味でよかったと思っています。

さて、先月初めあった旧盆の際は家族・親戚が一同に集まる機会があったかと思いますが、昔は名前に先祖代々伝わる漢字を利用していた家も多く、名前だけですぐどこの子かわかりました。

そういう私も宮城家に伝わる漢字が名前に入っています。祖父や父ももちろんその漢字が付いています。小さい頃は、何となく古めかしくて、あまり好きではありませんでした。

しかし、ある事件からその考えは変わりました。私の祖父は去った太平洋戦争で戦死したのですが、どこで戦死したのかわからず、自分が生きているうちに自分の手で遺骨を拾いたいということが長年の父の願いでした。学生時代、家が古島から石嶺に引っ越した際、近くに住んでいて、祖父と戦時中行動を共にしたという方が父の名前の表札を見て、祖父と関係があるのではと尋ねて来ました。父と祖父は一字違いなのです。そんなことがあって、祖父の遺骨を埋葬した場所が見つかったという奇跡的出来事がありました（詳細はもっと奇跡的）。

自分の名前には、名付けた背景や親の思いがあります。誇りを持って大切にしたいものだと思います。

今月の生きもの

ヤンバルクロギリス：クロギリス科

こんばんは。私、ヤンバルクロギリスと申します。

初めて私を見る方も多いかと思います。私は大宜味村以北のイタジイ林に生息する大型のバッタ目の昆虫で、頭からお尻までは3.5～4cmくらいあり、日本のバッタ目の中でもトップクラスの大きさです。古い木の樹洞内などにすんでいて、成虫になるまで2年もかかります。ここには樹洞のあるようないい森があるのですむことができるんです。

実は私には翅がなく、オスはこの立派な後肢でタッピングして音を出し求愛します。ジャンプ力もすごいので、跳んでいる姿を見た時はえっ、カエル!? って思う人もいるかも。



撮影：村山望

1日（水）区長会

4日（土）（園）運動会

5日（日）国頭郡陸上競技大会

6日（月）（小中）振替休日

11日（土）（小中）合同運動会

13日（月）スポーツの日

10月3日



登山の日

19日（日）国頭郡陸上競技大会予備日

23日（木）定例教育委員会会議

24日（金）（園）弁当会4・5歳児

25日（土）（中）地区駅伝競走大会

26日（日）大宜味村民ふれあい運動会

10月の行事予定

先月、体力測定がありました。何となく体力の衰えは感じているものの、まだまだ大丈夫でしょと楽観視している自分でしたが、結果は実年齢より上。あと1点、あと1回腹筋してたら年相応だったのに…。テストの厳しさを知りました。